

令和4年度（2022年度）行政評価シート【個表】

令和 4 年 7 月 29 日

評価対象事業		評価者	市民税課長 片瀬 由久	
総務-26	市民税賦課事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	市民税課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	市民税の納税義務者等
意図	地方税法に規定する普通税等の確保のため。
効果	市民税の賦課決定等を行う。

2 令和3年度(2021年度)に実施した事業の概要

個人市民税は、1月1日現在鎌倉市内に居住する個人及び市外に居住し、市内に事務所・事業所または家屋敷がある個人を対象に課税した。
法人市民税は、鎌倉市内に事務所・事業所などがある法人を対象に課税した。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和3年度		令和4年度	達成度
				指標(実績値/目標値) 事業費(決算/当初)(千円)		指標(目標値) 予算額(千円)	
01	個人市民税賦課決定事務	システム改修・課税データ入力等委託、試算システムの使用、電	—	/	19,871 / 20,694	19,793	
02	法人市民税申告決定事務	申告(確定・予定・修正・更正)内容の決定	—	/	/		
03	一般事務経費	消耗品、印刷製本 等	—	/	4,753 / 5,569	5,371	
04				/	/		
05				/	/		
06				/	/		
07				/	/		
08				/	/		
09				/	/		
10				/	/		
		財源内訳	国県支出金	/	/		
			地方債	/	/		
			その他特定財源	/	/		
			一般財源	24,624 / 26,263	25,164		
			事業費の合計(千円)	24,624 / 26,263	25,164		
		人件費(千円)		157,569	151,873		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	20.1	20.1	19.1			
会計年度任用職員	9.9	3.9	3.9			

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	個人市民税賦課決定事務	当該事業は、その性質上、指標を設定することになじまないと考えるため、指標を設定していない。	行財政運営において、個人市民税収入は歳入の根幹を成しており、必要不可欠な事業である。	職員の異動による事務処理効率の低下をきたさないよう、職員の知識及び技術のさらなる向上に努め、効率的な事務処理を目指す。
02	法人市民税申告決定事務	当該事業は、その性質上、指標を設定することになじまないと考えるため、指標を設定していない。	行財政運営において必要な歳入の一つであり、必要不可欠な事業である。	職員の異動による事務処理効率の低下をきたさないよう、職員の知識及び技術のさらなる向上に努め、効率的な事務処理を目指す。
03	一般事務経費	賦課・申告決定事務に必要な環境を整えるものであり、指標を設定することになじまないと考えるため、指標を設定していない。		
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	4 市民ニーズを計ることはなじまない
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	4 法令等により、市に実施が義務付けられている
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-9 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、実施事業に協働はなじまない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 改善・変更	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 休止・廃止
事業内容の見直しや検討を行いながら、事務処理効率の向上を図るため、職員の知識及び技術の向上に努め、賦課決定に関する事務を適正に執行していく。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--